

## INTERVIEW

市立恵那病院 副管理者  
地域医療振興協会総合診療産婦人科養成センター センター長  
伊藤雄二先生



# チーム医療による 新しい産科医療を目指して

聞き手：山田隆司 地域医療研究所長

## 地域で分娩を

山田隆司(聞き手) 今日市立恵那病院に伊藤雄二先生をお訪ねしました。市立恵那病院は国立療養所が恵那市に移譲され、地域医療振興協会が指定管理者となって10年以上が経過しました。

以前から市内で出産ができるようにという地元の強い要望があり、市立恵那病院新築移転に伴って産婦人科が新設され、伊藤先生に白羽の矢が立ったわけですが、先生に関わっていただくようになった経緯と現状をお聞きし、地域での分娩の課題についてお話しできたらと思います。

伊藤雄二 これまで西吾妻福祉病院で産婦人科診療兼へき地の総合診療を経験した中で、産婦人科医が中心となりながら総合診療医、家庭医、あるいはほかの科の先生にも協力していただきながら、産婦人科医療の多くが特殊なものではな

いという考えでやっていかないと、今後、地域での分娩は維持できないのではないかとことを痛感していました。協会の中にも、地域の中で女性診療をやっていきたいという私の考えに賛同してくれる産婦人科の先生方がいて、彼ら、彼女らと一緒にやっていけば、ひょっとすると今までにないような地域での産婦人科診療の形が具体化できるかもしれないと思ったのが2年ぐらい前です。ちょうどそのころ、市立恵那病院の話が出て、理事長からも恵那病院の産婦人科を何とかしてほしいというお話をいただきました。厳しい状況ではありましたが、もしかしたら恵那病院で産婦人科開設ができるかもしれないという兆しが見えた時だったので、「準備をします」ということになりました。

そういうことで2年前から、本部の総合診療産婦人科養成センターという名前をいただいてセンター長としていろいろな準備や調整をしながら、市立恵那病院産婦人科新設の準備を進め、ようやく4月にここの常勤になって、分娩を始める準備をしてきました。

**山田** 公的病院で、新しく産婦人科を創設するというのは、最近では極めて珍しいケースではないかと思います。お産は実際には何月から始めるのですか。

**伊藤** 11月13日以降の出産予定日の方を受け入れることになり、10月1日から妊婦健診を開始します。今、里帰り出産の方を中心に20人ほど予約されています。

**山田** 他の科の先生にも協力していただいてということですが、具体的にはどういう協力体制を考えていますか。

**伊藤** 例えば外科の先生に緊急の時の麻酔をお願いするとか、当直・待機の先生に帝王切開の時だけ少しお手伝いいただく、あるいは総合診療の先生に子宮癌の検診や外来の一部をお願いする等々。その代わりに私と新たに新任される小谷倫子先生、「地域医療のスズメ」の専攻医で産婦人科研修をされる上柴このみ先生の産婦人科医のチームは全科当直もするつもりですし、さらに東京ベイ・浦安市川医療センターで産婦人科に勤務されていた診療看護師の勘澤晴美さんにも加わっていただけることになりましたので、他科の患者さんの救急やその患者さんが入院となった時はチームで、産婦人科でない患者さん

も管理しましょう、というふうに考えています。難しい例はもちろん内科をはじめそれぞれ専門科の先生に相談させていただきながらです。

**山田** 分娩(帝王切開)には、外科系の先生たちのサポートを得ながら、お産以外の婦人科健診や女性の健康問題、あるいは婦人科外来には、総合診療系の内科系の先生たちにもサポートしてもらおうという感じですか。

**伊藤** そうですね。さらに分娩に関しては助産師がキーになると思うのですね。診療行為はできませんが、分娩の管理に関しては、彼女たちはプロフェッショナルなので、彼女たちの力をうまく利用できるような体制にしていきながら、妊婦さんに関われる人たちを増やしていきたいと思っています。

**山田** なるほど。十分な数の産婦人科医をここでそろえることは不可能なので、数名の産婦人科医でこの地域の分娩や産婦人科医療を守ろうと思うと、助産師や、外科医や、総合診療医の人たちのサポート体制をより充実させることが必要なわけですね。

**伊藤** そうですね。恵那病院の先生方ももちろんそれぞれ専門科を持っていらっしゃるわけですが、専門診療科間の垣根は高くはなく、それぞれにできることはカバーしましょうと言ってくれていますし、逆にわれわれに対して「予防接種は手伝ってもらえますか？」と頼っていただく面もあります。われわれも「いいですよ」とお答えしてお手伝いするつもりですし、全科当直もカバーしようと考えています。

## ウィメンズヘルスを診る

**山田** 専攻医や若い医師は産婦人科医として、不妊治療やがん治療といった専門性に興味を持って

いる人が多いのではないかと思ったのですが、先生がおっしゃるような総合的に女性を診るこ